

2024.8.22 (木)
第7回例会
(通算3769回)

2024-2025 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第86代会長 高橋 直人
副会長 吉田 英一
幹事 東堂 光春
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2024-2025 年度
国際ロータリーテーマ



2024-2025 年度
R1会長 ステファニー A. アーチック
第 2500 地区ガバナー
小谷 典之 (帯広西 RC)

本日のプログラム ガバナー公式訪問例会 (理事会)

次週例会 高橋会長のサイコロトーク (親睦活動委員会)

■ロータリーソング：我らの生業 ■ソングリーダー：白幡 博君

■会員数 105 名

■ビジター 小谷 典之ガバナー・大友 広明地区幹事・所 輝泉地区副幹事・菊地竜太郎地区副幹事
佐々木 勉第7分区ガバナー補佐・益子 良弘ガバナー補佐幹事・玉垣範夫ガバナー補佐幹事

■ゲスト

会長の時間 高橋 直人会長



皆さま、こんにちは。本日は小谷典之ガバナーの公式例会に参加していただき、誠にありがとうございます。また、小谷ガバナーをはじめ、佐々木ガバナー補佐、地区・分区から当クラブへご来訪に感謝申し上げます。11 時からの会長懇談会、11 時 45 分からの意見交換会、本例会と長時間にわたり、ガバナーには貴重な時間を当クラブにお使いいただき、誠に感謝申し上げます。

ガバナー公式訪問は、9月までの長丁場です。ガバナー随行幹事の皆さまにおきましては、健康に留意し、無事に終わることをご祈念申し上げます。

8月10日と11日に開催された2500地区第7分区主催の全道中学硬式野球大会が無事終了したことをご報告いたします。決勝戦が降雨のために5回で終了したことは大変残念ですが、選手たちがハッスルプレイで、観客席からの応援も熱を帯びていたことに主催者の一員として感動しました。優勝チームは日高リトルシニア球団、準優勝チームは旭川北稜リトルシニア球団でした。

今大会を陰ながら支えて下さった佐々木ガバナー補佐、当クラブ青少年奉仕委員会の皆さまに感謝申し上げます。

本日のプログラムは、ガバナー公式訪問となっております。

ます。ガバナーにおかれましては、昨年MOUから始まり、RLI、PETS、地区協議会、財団米山セミナーとさまざまな場面でお話を聞いてまいりましたが、多くの会員の皆さまは、初めてガバナーと直接お会いし、お話を聞く機会でございます。限られた時間ではありますが、小谷ガバナーの思いをしっかりと受け止めていただきたいと思います。

小谷ガバナーの掲げた5項目の重点目標を会員の皆さまとともに取り組んでまいりたいと思います。

本日は会員の皆さまと楽しい例会となることを期待し、会長の挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

乾杯のご挨拶 小船井修一パストガバナー



皆さま、ご苦労様です。小谷ガバナー、ようこそ釧路ロータリークラブへお越しいただきましてありがとうございます。

大友地区幹事、ガバナー補佐の時、私はIMでお邪魔したことあると思いますが、よろしく願いいたします。佐々木ガバナー補佐もご苦労様です。先ほどガバナーから伺いますと、39のクラブを訪問されてあと25カ所で終わるそうです。また昨日は夜1時半まで飲んでたということです。お医者さんなので、いろいろ自分のお体は気にしているだろうと思いますの

で、10月の地区大会で無事な顔を見たいと思っています。

公式訪問、会長が一番緊張すると思っています。公式訪問の中で、無事にこれで終わりそうな雰囲気になってきています。そういうことを含めて、皆さまと乾杯したいと思いますのでご唱和をよろしくお願ひいたします。

それでは、小谷ガバナーのこれからの益々の公式訪問が活発に、夜中まで飲んでいただくことを祈念し、地区大会で皆さまと再会することを祈念して乾杯したいと思います。

ロータリー財団・奨学推進異委員会

西村 智久委員長

嵯峨記念育英会委員会から皆さまに報告があります。去る8月20日にコロラド州に在住の近藤ゼレンカあず



ささん、嵯峨久さんのひ孫にあたる方です。釧路ロータリーの会報を褒めていただき、「素敵な会報をありがとうございます。育英会の存続に感謝いたします」というメッセージをいただきました。ホワイトボードに掲示しますのでご覧になってください。

ご報告いたします。ありがとうございます。

■本日のプログラム■ ガバナー公式訪問例会

国際ロータリー第2500地区 小谷 典之ガバナー



皆さん、こんにちは。7月1日から正式にR I 第2500地区ガバナーとなりました小谷典之と言います。よろしくお願ひ

いたします。

先ほど、小船井パストガバナーからお話がありましたが、64クラブ中39クラブ目と、やっと三分之二が終わりました。昨日も釧路ベイのメンバーと1時半まで楽しいお酒を飲みました。時間を忘れて飲んでいましたら、気づいたら1時半で、少しお酒が残っています。ろれつが回らないかもしれませんがよろしくお願ひいたします。

早速、パワーポイントを使ってお話をします。

まず、自己紹介の学歴・職歴です。1962年2月20日、稚内で生まれました。父は雪印乳業の社員だったので、

小学生までは道北を転々としていました。稚内で生まれて、豊富町、幌延町、小学校は天塩小学校を卒業しました。すぐに天塩中学校に入学したのですが、父の転勤で、岩手県の県北、太平洋側のリアス式海岸がきれいな街、久慈に転校して3年間。地元の久慈高校に入学したのですが、父がまたすぐに横浜工場に転勤になりました。高校は神奈川県立平塚江南高校を卒業しました。とても都会が嫌で、大学は北海道に戻って来ようと札幌医科大学に入学しました。

10年くらい大学病院とか地方の病院を巡って、10年後には帯広泌尿器科、更に10年後には音更町で十勝泌尿器科を開院しました。僕の従弟がたまたま同じ大学を卒業して泌尿器科の医者になったものですから、十勝泌尿器科の院長をまかせて、僕を含めて5人の大学の後輩と一緒に2軒の泌尿器科を運営しています。

これは大学生時代のウインドサーフィンをやっている時の写真です。医者になって最初の所属医院が釧路赤十字病院でしたが、医者になったころはこのような感じでした。あるスナックに行ったら、「どこで働いているのですか」と聞かれて、「にっせき」と言ったら「どこのスタンドですか」となって、この顔を見ると医者には見えなくてスタンドのあんちゃんと思われていました。

たまたま、その後に同じ店に製薬会社の接待で一緒に行った時に、僕のことを「先生」と言うものだから、スナックのママは「おかしいな、なぜスタンドの人を先生と言うのだろう」となって、そこで医者であることがバレてしまって、つまらなくなってしまいました。

ロータリー歴は、2009年4月、15年前に帯広西ロータリークラブに入会させてもらいました。その後、委員長、理事を歴任しまして2017年、入会8年目で副会長と副幹事、翌年に幹事、会長ノミニー、会長エレクト、2021-2022年度に帯広西ロータリークラブ創立50周年の節目の年に会長をやらせてもらいました。会長を終えたら、しばらくのんびりできると思っていたのですが、今日同行しています大友地区幹事を含めた歴代会長会が開かれました。何を話しているのかと思ったら「うちのクラブは50周年を迎えたのだが、2010-2011年度に柴田和明ガバナーの1人しか輩出していなかった。50年も経って恥ずかしいではないか」ということから「誰かを出そう」という話が、僕のいないところで勝手に進められました。なぜか僕の名前が出て、最初はかなり抵抗したのですが先輩たちが「ぜひ、やってくれ」となって受けました。ガバナーノミニー、去年はガバナーエレクト、今年からガバナーとなっています。

今年の1月、アメリカのフロリダ州、フロリダ半島のど真ん中にあるオーランドで国際協議会が開かれま

した。国際協議会に出席しないとガバナーになる権利がありません。世界中から 530 人のガバナーエレクトが集まって 4 日間、朝から晩まで缶詰になって研修を受けてきました。アーチック会長と握手している時の写真です。

今年の R I 会長のテーマは皆さんがご存知のとおり「The Magic of Rotary、ロータリーのマジック」。昨年度のゴードン・マッキナリーは「CREATE HOPE in the WORLD」。その前、初の女性会長ジェニファー・ジョーンズは「IMAGINE ROTARY」という会長テーマでした。今年が「The Magic of Rotary」。この 3 つの会長テーマをみると、なぜか今年のテーマは物足りないという気がしませんか。実は、動詞がないのです。ジェニファー・ジョーンズは「イメージしましょう」「想像しましょう」。ただの「ロータリーのマジック」、どうしましょうというのがないのです。動詞がないのです。

アーチック会長は、この動詞は各ロータリアンがいろいろと考えて決めてください、という意図で名詞・ロータリーのマジックとテーマを決めたそうです。誤解しないでください。私たちは、魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。それは、皆さん次第です。プロジェクトをするたびに、寄付をするたびに、新会員を迎えるたびに皆さんはマジックを生み出すのです。ということで今年の会長テーマのお話は終わりました。

R I 会長の年度目標、4 つあります。ひとつ目とふたつ目を白抜きで書いています。行動計画・アクションプラン、この言葉はアーチック会長の講話、文章の中にたくさん出てきます。行動計画とは何か。年度目標の最初に行動計画を前進させる、とあります。アクションプランです。この 4 つです。より大きなインパクトです。参加者の基盤を広げる。参加者の積極的な関りを促す。できること。この 4 つの優先事項、これがロータリーの行動計画です。この 4 つの優先事項の全てが会員増強につながる文章です。より大きなインパクトをもたらすのがノンロータリアン（一般の人たち）にロータリークラブの奉仕活動をして大きなインパクトを与えましょう。そして、新会員を増やします。参加者の基盤を広げる、この参加者というのはロータリアンではありません。一般の人たち（ノンロータリアン）の参加者の基盤を広げましょう。そして、ロータリークラブへの入会を勧めましょう。参加者の積極的な関りを促す。これも一般の人たちと積極的な関りを促して会員増強につなげましょう。この 4 つは会員増強のための行動計画と理解されるといいと思います。

ふたつ目が平和を優先する。三つ目はポリオ根絶です。よくロータリアンから「ポリオの患者さんがゼロに

なったら募金はいらぬのでは」と言われます。日本は 35 年間、ポリオの患者さんが出ておりません。なぜでしょう。それは年間 100 億円の税金を使って 1 歳までの、いわゆる乳児に対して 4 回のワクチンを投与しています。ですから 35 年間、一人もポリオの患者さんが出ていないのです。100 億円使って、裕福な日本はポリオの患者さんは出ていません。ところが貧しい国の子どもたちはポリオのワクチンなどは打ってもらえません。飲ませてもらえません。そこでロータリーは 40 年くらいかけて、世界中のロータリアンが多額の寄付を集めてポリオのワクチンを買って、それを投与しています。昨年度は 12 人まで減りましたが、もう少しでゼロになる。ゼロになってもポリオに対する募金は永遠に続きます。ワクチン投与を止めたとたん日本も含めて患者数が増えます。ポリオというのは日本にこの患者さんがいないから馴染みがない。僕は小児科で習いましたが、ポリオのことはほとんど習っていないし国家試験にも出ませんでした。それは、ワクチンを打っているからで、今後ゼロになったとしてもロー



リアンはポリオに対して寄付金を集めることは永遠に続けて行かなければなりません。継続と変化のバランス。これまでロータリーは単年度制と言われてきました。単年度制ではデメリットが多すぎて、今後は継続しましょうとなりました。各クラブでは 3 年間の目標を立てなさい、と今年度から言われました。ジェニファー・ジョーンズの 2 年前から「D E I を推奨して会員を増やして退会の防止につなげましょう」と言われて 3 年目です。今年のアーチック会長も「D E I を推奨しましょう」と言われています。

講話の最後に言った言葉です。「家に帰ったら、ロータリーのマジックを使って世界を変えて行きましょう」と、この言葉でアーチック会長の講話が終わりました。

日本には 34 の地区があります。同期が 34 人います。34 人とパートナー、4 日間の厳しい研修を終えてみんながホッとした笑顔で集合写真を撮りました。時差ボケがやっと治ったかなという時に終了です。この 34 人の中に 80 歳の同期ガバナーが 2 人いました。大変でした。途中で止めて帰るのではないかというくらい疲れておりました。4 日間の研修を受けてみんなが卒業となった時の写真です。

次に、地区のスローガンについて話します。47 歳の時にロータリークラブに入会させてもらったのですが、恐い先輩もいるし、知らない人もたくさんいます。例会に行きたくないなど。うちのクラブは 4 週目の例

会は夜間例会で、お酒が出る例会です。お酒も飲みたくないし、その後の二次会にも行きたくないものですから、わざと車で行ってきます。家に帰ってから先輩から電話が来るのです。「車を置いて、すぐ街に出て来い」と。そうしているうちに先輩たちと打ち解けて来て、8年目にクラブの幹事をやらせてもらいました。その時に、それまでは単なる例会に参加でしたが、幹事をやらせてもらうと「会場をどこにしよう」とか、委員長とどういふ事業をするか一緒に考えて、参画して来たなと思います。

さらに、奉仕活動。小学生にロケット教室をやっているのですが、自分でロケットを作ってもらって校庭で飛ばしてもらいます。自分が作ったロケットが空高く飛んで行って、落下傘で降りてくるのを拾いに行くのです。その時の小学生の笑顔を見ると、顔は分かるけど名前は分かりませんが、誰かのためになることを考えて参画してきた。この三つのステップがロータリアンとしての成長ではないかと思えます。

奉仕するときの喜びの笑顔。皆さんご存知のとおりウォルト・ディズニー、ハリウッドロータリークラブのロータリアンです。「与えることは最高に喜びだ。他人に喜びを運ぶ人は、自分自身の喜びと満足を得る」。奉仕活動をして、その相手の幸せそうな顔を見て自分自身が幸せになる。これこそがまさに奉仕する喜び、という名言です。

そこで、今年の地区スローガンは、『ロータリーに参画しましょう！誰かのために、あなたのために、自分のために』とさせていただきます。単なる参加ではなくて、企画から意志決定のプロセスまで主体的にロータリーに参画しましょう。ということで、ここは参加ではなくて参画しましょうという言葉にさせていただきました。

次に地区の活動方針です。ヒトの体。心臓から豊富な酸素と栄養を持った血液が動脈を流れて、全身の臓器に流れて、ここで酸素と栄養が消費され静脈に行って、心臓に戻ります。このようなスムーズな循環を私たちが無意識のうちにやっています。1分間に60回から80回の心拍、心臓がポンプ役をしてスムーズに血液を流しているので私たちは健康でいられます。ところが高血圧とか高脂血症、糖尿病などになるとこの循環がうまく行かなくなって、脳梗塞とか心筋梗塞の病気になって生命の存続の危機に直面します。

この、ヒトの体をロータリークラブに当てはめます。まずは会員増強。会員を増やさないと、若い会員、女性会員を増やさないと、そのクラブは10年後には平均年齢が10歳上がります。日本の平均寿命は80歳です。ところが健康寿命、いわゆる健康でいられる・普通に生活できる人の平均年齢は74歳です。ということは、釧路クラブの今の平均年齢は58歳、10年経ったら68歳、みんな歳をとるのです。すると、健康で

いられるメンバーが減って行きます。すると、会員はどんどん減ります。ですから、新しい会員を入れる。会員が増えればいわゆる財団への寄付が増えます。財団の寄付が増えれば奉仕活動が充実します。奉仕活動を一般の人たちに行くと釧路ロータリークラブの公共イメージが上がります。公共イメージが上がったことによって一般の人たちが「自分も釧路ロータリークラブに入会したい」となり、会員が増える。

この4つのファクターがスムーズに循環してくれると、どんどん反映して素晴らしいクラブになって行くはず。この中のひとつにでも欠陥があると、おそらくそのクラブは会員が減って衰退していく。

そこで一つ目の活動方針です。会員増強について、女性会員ゼロクラブ ゼロを目指しましょう。DEIを推進して。2500地区最大の105名もいる釧路ロータリークラブは残念ながら女性会員がゼロです。ジュニア・ジョーンズは「30%にしよう」と言っていました。

うちの地区では女性会員は5%くらいです。日本全体では10%くらいです。まだまだ目標には達していませんけど、とりあえずゼロクラブのゼロを目指していただきたいです。64クラブありますが22クラブで女性会員がゼロなのです。三分の一のクラブで女性会員がゼロなのです。まだゼロでも目立たないのですが、僕がこの目標を立てたことによって、ゼロのクラブの皆さんが焦って、公式訪問の時に「1人決まりました」というクラブが結構あります。ということは、徐々に女性会員ゼロのクラブがなくなってきましたので、ゼロのクラブが目立つようになりますので、釧路ロータリークラブでも1人か2人の会員を入れていただきたいです。若い会員も入れてください。

二つ目の活動方針。年次寄付ゼロクラブ ゼロを継続しましょう。うちの地区は年次寄付を全てのクラブからいただいております、ゼロです。このゼロを継続しましょう。

三つ目の活動方針。奉仕活動経験ゼロクラブ ゼロを目指しましょう。残念ながら2500地区64クラブ中、創立以来一度も奉仕活動をやっていないクラブがあります。先ほどのウォルト・ディズニーの話ではないのですが、自分たちが奉仕活動を行って、翌年の寄付金を増やしてあげようという気持ちになると思うのです。奉仕活動をやっていないけれども、よく年次寄付をしてくれるなーと不思議な気持ちになります。ということは、その人たちは「年会費と一緒にいくらかは分からないけど年次寄付をしているだけだ。額も覚えていない」というメンバーが結構いるのではないかと思います。奉仕活動をやっていないクラブはぜひ行いましょう、これが三つ目の方針です。

日本には34の地区がありますが、そのうち二つの地区が所属するクラブ全てが地区の補助金を使って奉

仕活動を行っております。その地区の特徴は、会員一人当たりの寄付金の額が多いのです。一生懸命に奉仕活動をやって、相手の幸せの顔を見ると、次の年の寄付金をもっとしてあげようという気持ちになります。ここだけは矢印が逆に動くということです。

四つ目、ロータリーの公共イメージを認知し、さらなる向上を目指しましょう。

以上の四つを地区の活動方針にしようと思っていたのですが、国際ロータリーの変化として今年7月から、「3カ年の目標を立てましょう」が始まりました。

昨年のメルボルンでの国際大会で決まった話です。今年の7月から新しくR I 理事に水野功さんがなられました。彼からの要望です。「『My ROTARY』のクラブセントラルから目標数値を具体的に記入しましょう。毎年、検針して目標を再設定できます。クラブは会長、会長エレクト、会長ノミニー、そして理事会で議論して3年後までの目標数値を記入しましょう」ということです。

会長ノミニーがまだ決まっていない段階で3年後の目標は立てられるはずがないので、とりあえずはエレクトの年までは具体的に数字を入れてもらって、ガバナー補佐のほうに出してください。

今年の会長は会員増強で、「地区ごとに純増で100名」と言っています。うちの地区は2,200名くらいいますので、5%増やしていただくと100名になります。釧路クラブの会員は105名ですから5名の目標、高橋会長は10名と言っておりましたので心強く思っています。

ということで5つ目の活動方針として、3年間の目標と計画を実践しましょう、この5つを地区の活動方針としました。

地区の活動を具体的な内容を話します。ガバナー公式訪問を7月2週目から始めました。公式訪問は昼の例会と夜間例会がありますので、その間の空き時間を使って、地元の中学校と高校に行って「性感染症と避妊の大切さ」の講演を行っております。具体的にどんな話をするかという、「SEXはするなどは言いません。するならコンドームをしなさい。そうすると性病にも罹らないし、希望しない妊娠も成立しない」という話を中学生・高校生にしています。夏休み中だったのでしばらく行っていませんでしたが、いろいろな中学校・高校からオファーがあるらしくて、これからやって行かなければと思います。

去年行った事業です。帯広ローターアクトクラブと帯広西ロータリークラブの共同で地区の補助金を使って、こんな豊かな日本で「貧乏だからお母さんにナプキンを買ってもらえない」という女の子がこれだけの割合でこんなにいるのです。その子たちのために、無償で生理用ナプキンを中高校生に提供しました。女子トイレとか保健室に置いておくと結構持つて行く。こ

の事業を今年度は地区全体で行います。女性会員のみで構成された母子の健康増進委員会を作りました。この委員会が中心になって、同じような事業を各分区で行っていただこうと考えています。

国際ロータリーの変化でもうひとつ。今まで「研修」という言葉が使われていましたが、これからは全て「学習」に変わります。具体的には「研修リーダー」は「ラーニング ファシリテータ」、「地区研修セミナー」は「地区ラーニングセミナー」です。「P E T S」と言われた「会長エレクト研修セミナー」は「会長エレクトラーニングセミナー (P E L S)」に変わります。「地区研修協議会」は「クラブリーダー地区ラーニングセミナー」と、全てカタカナ表記になりますので今のうちに慣れていてください。

今後の予定です。地区大会は10月12日と13日の二日間で行います。土曜日の朝7時スタートで記念ゴルフ大会を行いますが、ここでポリオ根絶の募金活動を行う予定です。赤い「End Polio Now」と書いたTシャツを着てもらって、ショートホールでは「ワン・オン」にチャレンジしてもらって、「ワン・オン」しなかったら募金をしてもらおう予定です。

その1週間後の10月20日に帯広で「ロータリー財団補助金管理セミナー」があります。これに次年度の会長・幹事に出ただけか来年度の地区補助金をもらえませんが、2週続きますが帯広に来てもらってセミナーを受けていただきたいと思います。

年が明けて、4月26日に一泊で中札内村のフェリーエンドルフで「ライラセミナー」を行います。30歳以下の将来リーダーとなる、あるいは社長を目指しているような若者を集めてセミナーを行いますので、ぜひ自分の会社の社員とかに参加させていただきたいと思います。

5月10日、「レディ・ゴー」を北海道ホテルで行います。2年前の久木年度に初めて旭川で行いましたけど、女性だけのセミナーです。女性ロータリアン、ソロプチ、商工会議所の女性たちを集めて女性だけのセミナーを行いますので、ぜひそれまでには釧路クラブに女性会員を入れていただいて、参加していただきたいと思います。

最後のスライドです。この漢字をなんと読むかお分かりでしょうか。4月に行いました研修協議会で基調講演をいただいた『ロータリークラブに入ろう！』を書いた田中久夫先生が使ったスライド1枚をお借りしました。

「ろー・た・り・あん」です。田中先生が作った言葉です。「ろー」、クラブの将来には全く関心がなく、自分のことだけに執着している人。「た」、自分が得をすることだけに執着してまるで行動・寄付が伴わない。口先だけの人、自己中。「り」、クラブ、地区の活動には参加せず、ただ汗をかかないで振舞う狡猾なひと。

「あん」、その人がいるだけで周囲が暗くなるような負のオーラを持った人。このような人が好んで集まるクラブには将来がありません。このような人をクラブの中枢に据えてはいけません。皆さんは自クラブを良い方向に導いていく水先案内人の責任を果たしましょう。

先ほどの会長懇談会で、先輩たちが文句を言わない、やりたいようにやらせてもらえる、素晴らしいクラブだと聞いていますので、釧路クラブには『漢字ロータリアン』はいないと安心しております。

なぜこのスライドを出したかです。僕自身の自戒のためですが、将来、ガバナーが終わってパストになった時に、「最近、小谷は『漢字ロータリアン』になりそうではないか」と言われないようにこれからも精進したいと。漢字ロータリアンではなくて、感じのいいロータリアンであり続けたいと思っております。

5年後、10年後の釧路ロータリークラブを見据えてロータリーのマジックを具現化しましょう。

以上、ご清聴、ありがとうございました。

きょう、『アンビシャス』と言う本を1冊だけお持ちしました。何が書かれているかと言いますと、10月13日に行われる特別講演では、前沢賢さんをお願いしていますが、この方は北広島市に日本ハムのエスコンフィールド北海道の球場を作った方です。札幌

ドームから北広島市に移転した苦労話がリアルにこれに書かれています。

この内容を読破してから地区大会の講演を聞いていただくとすんなり理解いただけると思います。1冊しかないので、幹事さんに全部読んでいただいて、どこかのクラブの例会でこの内容をメンバーに周知していただきたいと思っております。

幹事さん、よろしくお願いたします。

謝辞 高橋 直人会長

小谷ガバナーよりご講話をいただきましてありがとうございました。

ガバナーが掲げた5項目の重点目標を参考に今後も参加してまいりたいと思っております。

ガバナーにおかれましては、2500地区公式訪問をする大変ハードなスケジュールのなかでお体に十分ご留意されてご活躍されることをご祈念申し上げ、お礼の言葉に代えさせていただきます。本日はありがとうございました。



本日のニコニコ献金

■小谷 典之君

■山本 肇富山西ロータリークラブ会長・山本 香織富山西クラブいずみ会会長

釧路ロータリークラブの皆さまに、この度は釧路湿原猛禽類医学研修所訪問を計画して頂き、ありがとうございました。当クラブの今後の「立山の固有植物を守る運動」に大変参考になり、貴重な経験になりました。心より御礼申し上げます。

今年度累計 94,000 円